

# 平成30年度 認知症ケアレジストリ研究 BPSDスポット調査報告書 ～食事に関するBPSDとケア編～ (概要版)

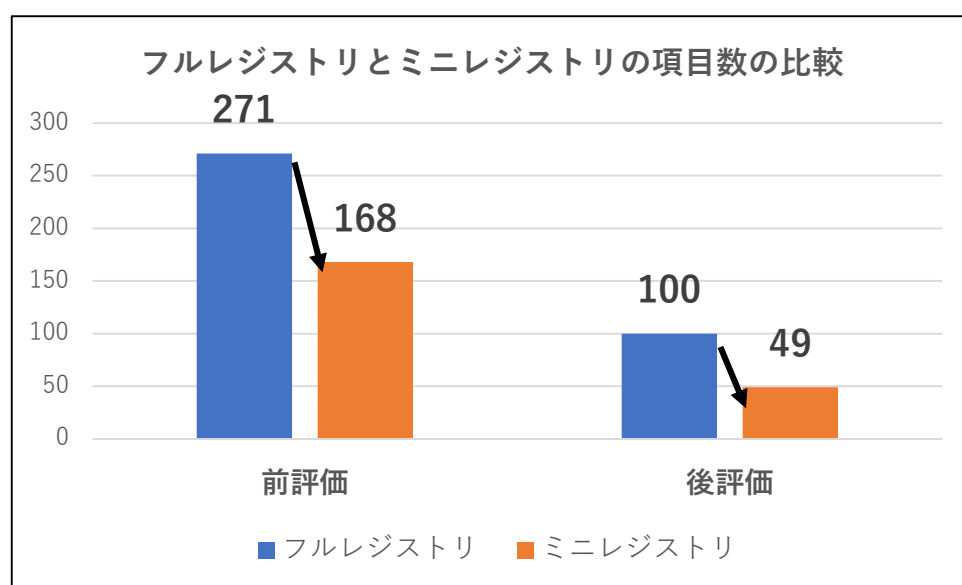
社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター

**本研究では、認知症の人のBPSDに対するケアの実践事例を多数集めケアの標準化を目指します。**

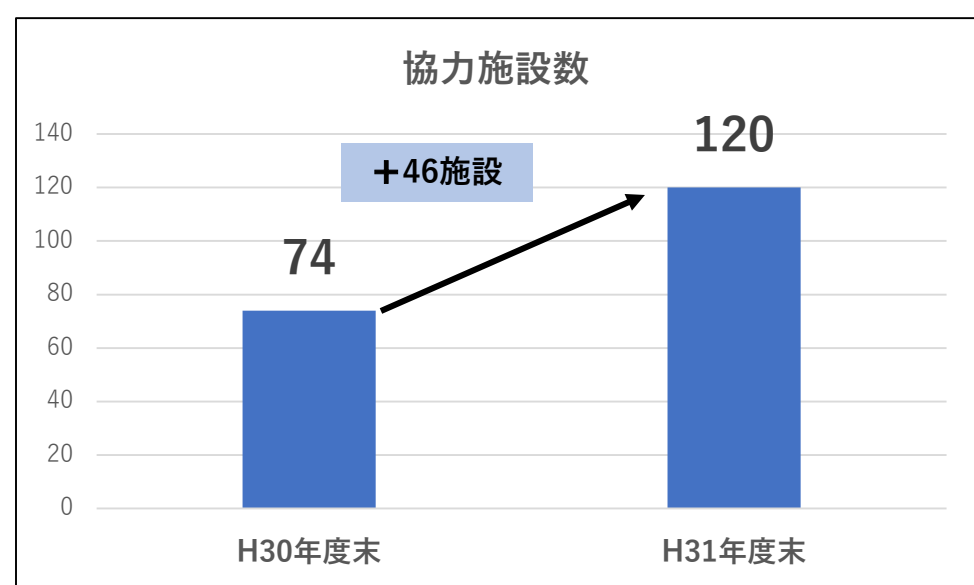
**【対象施設】** ①調査協力に同意の得られる施設、②認知症の人が入居している施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホーム、介護療養型医療施設、特定施設など）  
**【対象者】** ①医師により認知症と診断されている方、②調査協力に同意の得られる方、③認知症高齢者の日常生活自立度がIIa、IIb、IIIa、IIIb、IVの方、④現にBPSDが生じている方、⑤意識障害・精神障害のある方、終末期にある方は対象外  
**【デザイン】** BPSDの生じている認知症の人について、前評価でADL等の基本情報やBPSDの程度を評価し、実施するケアを決めたうえで、2週間～1か月後に後評価でBPSDの程度等を再評価するシングルスシステム介入研究

## 【結果①】 より幅広く協力者を得るためにミニレジストリを開始しました。

- これまでの調査（フルレジストリ）に加え、選択項目や認知症の人による評価が必要な項目等を削除した、ミニレジストリを開発しました。結果、登録時間を半分以下に抑えることができました。
- また、認知症介護指導者の所属施設以外でも登録可能とし、調査協力者の追加募集を開始しました。

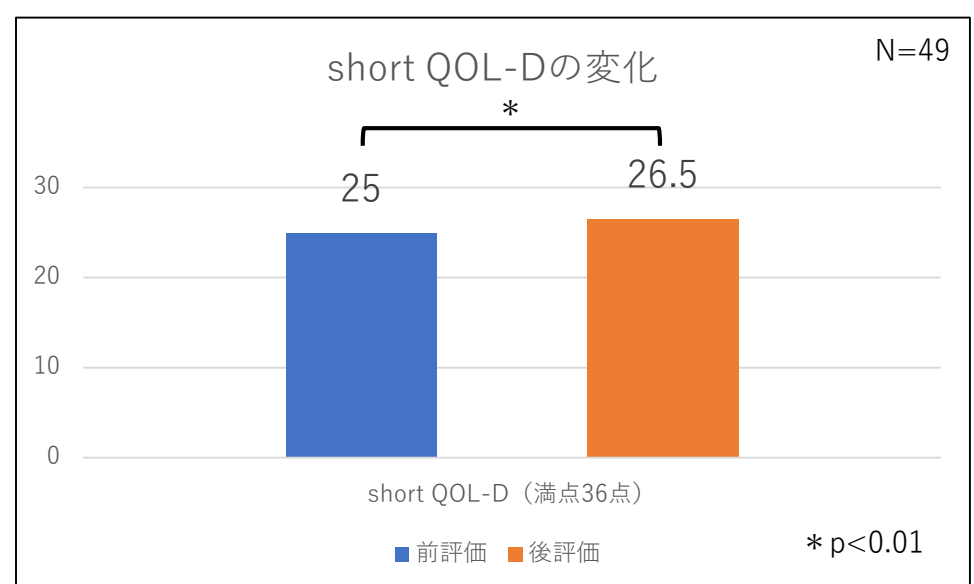
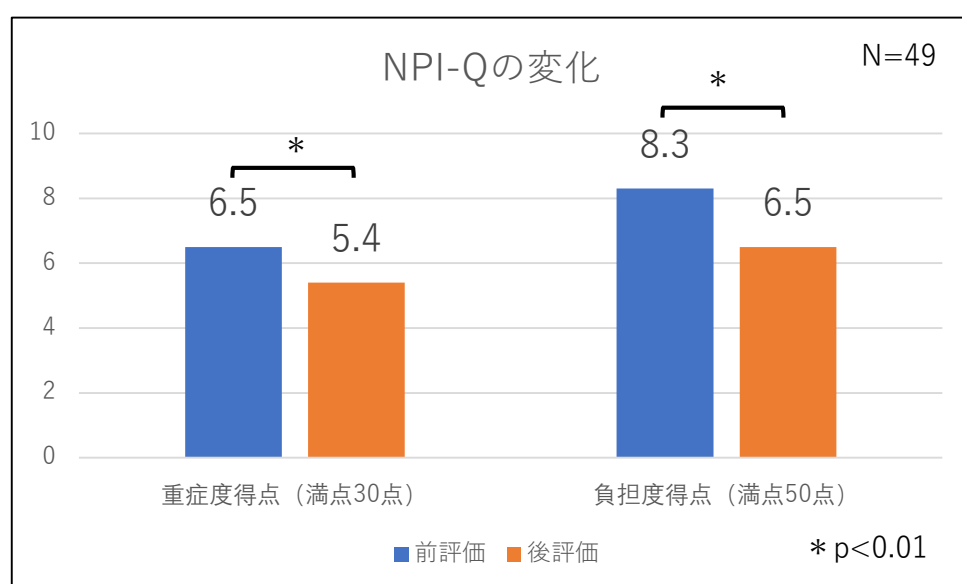


\* ミニレジストリでは、負担の大きい自己評価項目等を削除し、調査時間は半分以下になりました。



## 【結果②】 全体としてBPSDの改善事例を得られていることを確認できました。

- 登録されたケースについて、NPI-Qの重症度得点・負担度得点が、有意に減少していることを確認しました。
  - また、同様に登録されたケースのshort QOL-Dが、有意に上昇していることを確認しました。
- \* それぞれ対応あるt検定を実施



※NPI-Qは、高いほどBPSDが重度であることを示す。short QOL-Dは、高いほどQOLが高いことを示す。

## 食事に関するBPSDの集積状況

**【結果】** 食事に関するBPSDでは、48事例が登録されました。  
 各BPSDについて、原因やケアの実施状況について集計を行いました。

N = 49

	選択数	選択率
他の人の食事を食べようとする	10	20.40%
食事が途中で止まる	8	16.30%
食事を食べるのを拒否する	7	14.30%
食べたことを忘れ、食事を欲しいと訴える	6	12.20%
食事が食べ始められない（拒否しているわけではない）	5	10.20%
食べられないものを食べようとする	4	8.20%
必要以上に食事を食べようとする	2	4.10%
食事介助を拒否する	2	4.10%
その他（食事等に関する課題）	4	8.20%

### 【PICK UP】 「他の人の食事を食べようとする」の原因やケア

- 「他の人の食事を食べようとする」では、前・後評価がそろった事例が9事例収集されました。
- 改善群と維持・悪化群に分けて、原因やケアの選択された割合の集計をしました。
- 今後、さらに事例を収集し、認知症の人は、どのような理由・原因で他の人の食事を食べようとするのか、原因と認知症の人の属性の関係、原因とケアの関係、改善群・悪化群で実施されたケアの違いなどを検討していきます。

#### 他の人の食事を食べようとする原因（専門職評価）

n=9

	改善群；3名		維持・悪化群；6名	
	選択数	選択率	選択数	選択率
もっと食べたい（食事量が足りない）	1	33.3%	5	83.3%
自分の食事がどれかわからない	1	33.3%	5	83.3%
抑制が効かない（脱抑制）	1	33.3%	2	33.3%
好きな食べ物が目についた	1	33.3%	2	33.3%
その他	1	33.3%	1	16.7%
不明	0	0.0%	0	0.0%

#### 他の人の食事を食べようとする人に実施されたケア（中分類）

n=9

	改善群；3名		維持・悪化群；6名	
	数	%	数	%
その他ケア	2	66.7%	5	83.3%
会話方法	2	66.7%	4	66.7%
アセスメント	2	66.7%	3	50.0%
ケア方法の統一	2	66.7%	3	50.0%
会話内容の調整	1	33.3%	5	83.3%
接触量	1	33.3%	4	66.7%
席の位置調整	1	33.3%	1	16.7%
人数調整	1	33.3%	0	0.0%
他者との関係支援	1	33.3%	0	0.0%
刺激調整	1	33.3%	0	0.0%
居室環境の調整	0	0.0%	0	0.0%
医療	0	0.0%	0	0.0%
職員の調整	0	0.0%	0	0.0%

**「その他」に分類された状態やケアのリスト化も順次進めていきます。**

#### 他の人の食事を食べようとする <具体的状態>

- 食べ終わるのが早く他の人の食事を食べる
- 食べるのが遅い人が周りにいると食べる
- 周りの人が見ていないときに食べる
- 自分の食事がどれかわからないため食べる
- 他の人の食べ残しを食べる



BPSDのアセスメント項目の検討材料

#### 他の人の食事を食べようとする <「その他」のケア>

- 食事を提供する順番を調整する
- 箸を最後に配膳することで、他の人と同時に食べられている
- 食器と食材のコントラストをはっきりとさせ、自身の食事に集中できるようにする
- 食事が終わった後にお茶などを提供し、他者の食事に気が向かないようにする
- 食べ終わったらスタッフが隣に座り会話する